



## 平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年3月26日

上場会社名 日本オラクル株式会社

上場取引所 東

コード番号 4716

URL <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>

代表者 (役職名) 代表執行役 (氏名) 金子 忠 浩

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 副社長 最高財務責任者 (氏名) 野 坂 茂

TEL 03-6834-6666

四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年5月期第3四半期の業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	111,646	0.8	30,913	0.2	30,901	△0.2	19,004	△0.3
25年5月期第3四半期	110,751	8.3	30,860	8.6	30,969	8.8	19,061	14.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	149.53	149.44
25年5月期第3四半期	149.98	149.93

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第3四半期	130,842	85,954	64.9	667.76
25年5月期	136,810	77,473	55.9	601.77

(参考)自己資本 26年5月期第3四半期 84,879百万円 25年5月期 76,480百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	84.00	84.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	92.00	92.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年5月期の業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,500	8.1	46,800	9.7	46,900	9.3	29,000	9.5	228.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期3Q	127,117,771 株	25年5月期	127,098,571 株
26年5月期3Q	6,725 株	25年5月期	5,675 株
26年5月期3Q	127,098,977 株	25年5月期3Q	127,092,171 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P4「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 追加情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

#### ① 業績の概要

当第3四半期累計期間（自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日。以下、「当四半期」）における日本国内の経済環境は緩やかな回復基調にあり、景気回復に伴う金融市況や個人需要動向の改善も進み、お客様のIT投資意欲も特に金融や流通サービス業を中心に改善基調にあります。当四半期の売上高は111,646百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は30,913百万円（前年同期比0.2%増）、経常利益は30,901百万円（前年同期比0.2%減）、四半期純利益は19,004百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

当第3四半期会計期間（自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日）の業績では、売上高は38,992百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は11,446百万円（前年同期比14.9%増）、経常利益は11,446百万円（前年同期比14.4%増）、四半期純利益は7,092百万円（前年同期比14.6%増）と堅調に推移し、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、第3四半期会計期間としては過去最高となりました。

#### ② 報告セグメント別の状況

##### 【新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション】

当四半期売上高は30,627百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

当セグメントは企業等のIT基盤に利用される、データベース管理ソフトウェア、各種ミドルウェア、ERP等の業務アプリケーションソフトウェアの新規ライセンスを販売する「新規ライセンス」と、特定のソフトウェアやソフトウェア実行基盤をクラウド・コンピューティング環境でサービス利用型として提供する「クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」から構成されます。

新規ライセンスの当四半期売上高は28,682百万円（前年同期比3.8%減）となりました。お客様のIT投資意欲は、特に金融や流通サービス業といった産業を中心に回復傾向にあり、当第3四半期会計期間では、新規ライセンスの売上高が堅調に推移いたしました。

平成25年7月にはデータベース製品の最新版「Oracle Database 12c」、アプリケーション・サーバーの最新版「Oracle WebLogic Server 12.1.2」、インメモリ・データグリッド製品の最新版「Oracle Coherence 12.1.2」、クラウド・アプリケーション基盤製品群の最新版「Oracle Cloud Application Foundation 12c」、中堅企業向けERP製品「JD Edwards EnterpriseOne」のインメモリ・アプリケーション、および公益業界向けアプリケーション製品「Oracle Utilities」の最新版を、8月には運用管理ソリューションの最新版「Oracle Enterprise Manager 12c」、9月にはモバイル対応を強化した「Oracle WebCenter」最新版、10月には基幹業務アプリケーション製品最新版「Oracle E-Business Suite R12.2」、12月にはセルフサービス型のデータ・ディスカバリー機能を大幅に強化したビッグデータ・アナリティクス製品の最新版「Oracle Endeca Information Discovery 3.1」、平成26年1月にはデータ統合製品の最新版「Oracle Golden Gate 12c」ならびに「Oracle Data Integrator 12c」、2月にはプロセス産業向けのインメモリ・アプリケーション「Oracle In-Memory Cost Management for Process Industries」を提供開始いたしました。

クラウド・ソフトウェア・サブスクリプションの当四半期売上高は1,944百万円（前年同期比0.8%減）となりました。製品・サービスの購入や利用過程において顧客が経験する価値である「カスタマー・エクスペリエンス」の向上を実現し、顧客満足度を高めるカスタマー・エクスペリエンス製品群が堅調でした。平成25年7月にはタレントマネジメント「Oracle Taleo Cloud Service」の最新版、10月にはソーシャルメディア管理アプリケーション「Oracle Social Relationship Management」、11月にはマーケティング活動の自動化を実現する「Oracle Eloqua（エロクア）」、平成26年1月にはクラウド連携アダプタ「Oracle Cloud Adaptors」の第一弾としてSalesforce.com専用の連携アダプタ「Oracle Cloud Adapter for Salesforce.com」およびその関連ソフトウェアをパッケージにした「クラウド統合パック」を提供開始いたしました。

#### [アップデート&プロダクト・サポート]

当四半期売上高は50,950百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

当セグメントは、ライセンスを利用されているお客様に更新版等のアップデートや技術サポートを提供しております。

導入製品や利用環境に応じたプロアクティブ（事前対処的）かつプリベンティブ（予防的）なサポートを提供する「My Oracle Support」等、製品を利用されているお客様に対するサポートの価値訴求の推進やパートナー様との協業を推進し、新規ライセンスへのサポート装着率や既存サポート契約の更新率の維持向上を目指した施策を進めてまいりました。

#### [ハードウェア・システムズ]

当四半期売上高は17,327百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

当セグメントは、サーバー、ストレージ、エンジニアド・システム、ネットワーク機器等のハードウェアの販売およびそれらのオペレーティングシステム（OS）や関連ソフトウェアを提供する「ハードウェア・システムズ・プロダクト」、ハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンスの提供およびOS等関連ソフトウェアの更新版等の提供を行う「ハードウェア・システムズ・サポート」から構成されます。

ハードウェア・システムズ・プロダクトの当四半期売上高は10,019百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

エンジニアド・システム製品やストレージ製品が好調に推移いたしました。平成25年7月には「SPARC（スパーク） T5」プロセッサを搭載したエンジニアド・システム「Oracle SuperCluster T5-8」、8月には高速分析専用マシンの最新版「Oracle Exalytics（エクサリティクス） In-Memory Machine X3-4」、9月には仮想化統合基盤を実現するエンジニアド・システム「Oracle Virtual Compute Appliance」、10月には「SPARC M6」プロセッサを搭載した「SPARC M6-32」サーバーおよび同サーバーを搭載したエンジニアド・システム「Oracle SuperCluster M6-32」、オラクルのデータベース製品の運用効率を向上する「Oracle ZFS Storage ZS3」、磁気テープ記憶装置の新製品「StorageTek（ストレージテック） T10000D」、ならびにインテル Xeonプロセッサを搭載したx86サーバー製品群「Sun Server X4」、平成26年1月には高速データベース・マシンの最新版「Oracle Exadata Database Machine X4」、ならびにJavaベースその他多数のアプリケーションを超高速に実行するエンジニアド・システム「Oracle Exalogic Elastic Cloud」の最新版「Oracle Exalogic Elastic Cloud X4-2」を提供開始いたしました。

ハードウェア・システムズ・サポートの当四半期売上高は7,308百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

## 【サービス】

当四半期売上高は12,740百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

当セグメントは、当社製品の導入支援を行う「コンサルティングサービス」、予防保守サービスやお客様のIT環境の包括的な運用管理サービスを提供する「マネージド・クラウドサービス」、技術者や利用者向けの研修事業や技術資格の認定事業を提供する「エデュケーションサービス」から構成されています。

マネージド・クラウドサービスの予防保守サービスがエンジニアド・システム向けのサービスを中心に好調に推移し、また、コンサルティングサービスも堅調に推移いたしました。エデュケーションサービスにおいては、最新のデータベース製品「Oracle Database 12c」に対応した研修コースを平成25年9月に、技術者認定資格試験を11月に、それぞれ提供開始いたしました。

## ＜報告セグメント別売上高の状況＞

区分	平成25年5月期 第3四半期		平成26年5月期 第3四半期			平成25年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比	対前年 同期比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
新規ライセンス	29,816	26.9	28,682	25.7	△3.8	44,852	29.3
クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	1,960	1.8	1,944	1.7	△0.8	2,707	1.8
新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	31,777	28.7	30,627	27.4	△3.6	47,560	31.1
アップデート&プロダクト・サポート	50,680	45.8	50,950	45.6	0.5	67,109	43.8
ソフトウェア関連	82,458	74.5	81,577	73.1	△1.1	114,669	74.9
ハードウェア・システムズ・プロダクト	8,822	8.0	10,019	9.0	13.6	12,370	8.1
ハードウェア・システムズ・サポート	7,385	6.7	7,308	6.5	△1.1	9,831	6.4
ハードウェア・システムズ	16,208	14.6	17,327	15.5	6.9	22,202	14.5
サービス	12,084	10.9	12,740	11.4	5.4	16,276	10.6
合計	110,751	100.0	111,646	100.0	0.8	153,148	100.0

（注）金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

## (2) 業績予想に関する定性的情報

平成25年6月27日に発表いたしました平成26年5月期の業績予想より変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ・ 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,463	22,941
受取手形及び売掛金	19,522	14,570
商品及び製品	0	0
短期貸付金	42,200	48,500
その他	3,084	3,325
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	94,267	89,334
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	13,314	13,223
土地	26,057	26,057
その他(純額)	1,216	1,248
有形固定資産合計	40,587	40,529
無形固定資産	19	10
投資その他の資産		
その他	1,940	972
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	1,935	967
固定資産合計	42,543	41,508
資産合計	136,810	130,842
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,359	8,077
未払金	3,722	3,351
未払法人税等	9,061	3,652
前受金	32,474	26,966
賞与引当金	1,754	1,250
その他の引当金	327	289
その他	1,547	1,292
流動負債合計	59,246	44,880
固定負債		
その他	91	7
固定負債合計	91	7
負債合計	59,337	44,888
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,304	22,335
資本剰余金	5,654	5,685
利益剰余金	48,558	56,887
自己株式	△25	△29
株主資本合計	76,491	84,879
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10	—
評価・換算差額等合計	△10	—
新株予約権	992	1,075
純資産合計	77,473	85,954
負債純資産合計	136,810	130,842

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	110,751	111,646
売上原価	56,685	57,973
売上総利益	54,065	53,673
販売費及び一般管理費	23,205	22,760
営業利益	30,860	30,913
営業外収益		
受取利息	39	44
有価証券利息	0	—
その他	77	3
営業外収益合計	117	48
営業外費用		
その他	8	60
営業外費用合計	8	60
経常利益	30,969	30,901
特別利益		
新株予約権戻入益	76	29
特別利益合計	76	29
特別損失		
投資有価証券売却損	—	8
事業構造改善費用	181	127
特別損失合計	181	135
税引前四半期純利益	30,864	30,794
法人税等	11,803	11,789
四半期純利益	19,061	19,004

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	新規ライセンス およびクラウド・ソフトウェ ア・サブスクリ プション	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウ ェア・シ ステムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,777	50,680	16,208	12,084	110,751	—	110,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,777	50,680	16,208	12,084	110,751	—	110,751
セグメント利益	4,320	26,706	844	2,545	34,417	△3,557	30,860

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,557百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	新規ライセンス およびクラウド・ソフトウェ ア・サブスクリ プション	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウ ェア・シ ステムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,627	50,950	17,327	12,740	111,646	—	111,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	30,627	50,950	17,327	12,740	111,646	—	111,646
セグメント利益	3,707	26,754	903	2,851	34,216	△3,303	30,913

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,303百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

当第3四半期会計期間において、オラクル・コーポレーション（当社の親会社）の子会社である Oracle America, Inc. に対し、短期貸付（48,500百万円）を行っております。なお、貸付金の利率については、市場金利を勘案し合理的に決定しております。